

# 人生100年時代にふさわしい 健康長寿社会をつくる医療システム

## 3つのコンセプトに基づく政策提言の概要

### 3つのコンセプト

#### コンセプト1

効果的な医療を持続的に実現するため、医療システムの**効率化・適正化**が求められる。



#### コンセプト2

医療システムの改革にかかる費用は負担ではなく、国民の健康を改善しうる**未来への投資**である。

下記6つの観点から3つのコンセプトの実現を目指す。

- ✓ 支出の効率性を高める取り組み
- ✓ 研究開発を効率化し市場アクセスを改善するレギュラトリーサイエンス
- ✓ プッシュ型およびプル型のインセンティブの開発・普及
- ✓ よりよい政策討議のための医療情報データベース
- ✓ 医療システムを支える財源や支払いメカニズム
- ✓ 価値に基づく意思決定による未来への選択

#### コンセプト3

疾病の回復だけでなく、**健康寿命の延伸**に資する医療システムの構築が不可欠である。



# 政策オプションの概要

日本医療政策機構は、2019年度、今後の医療システムについてマルチステークホルダーで議論するためのタスクフォースを設立した。その中での議論の概要を下の図にまとめる。

## 効率化・適正化

## 未来への投資

## 健康寿命の延伸

### 支出の効率性 (第1章 鎌江 伊三夫\*)

HTA※1の実施を国民皆保険全体に拡大し、投資への規律性の導入

医療経済・アウトカム研究の専門家を育成し、医療システムの長期的な持続可能性の改善

支出の効率性を高め、国民の健康を支える安定した医療提供体制の確立

### レギュラトリーサイエンス (第2章 梅津 光生\*)

安全性と有効性を考慮したうえで、相互承認や早期承認による研究開発の効率化

医薬品・医療機器の安全性と有効性を多角的に審査できる人材を育成し、市場アクセスの長期的な改善

革新的な医療技術の市場アクセスを改善し、高度な医療の安定供給

### インセンティブ (第3章 中村 洋\*)

患者視点の価値に基づき、マイナスのインセンティブを使用した改革の推進

プッシュ型、プル型インセンティブを使用し、効率の高い医療提供の促進

メリハリのあるインセンティブの使用による健康寿命の延伸に繋がる医療改革の推進

### 医療情報データベース (第4章 清水 央子\*)

既集積されている医療情報データを最大活用するための解析インフラとマスターデータの構築

PHR※2を含む患者単位でのデータを拡充し、国民の健康に資する政策立案の情報基盤の整備

医療情報データベースを活用したエビデンスに基づく健康寿命の延伸に資する政策の立案と効果検証

### 財源や支払いメカニズム (第5章 小黒 一正\*)

患者及び産業競争力視点の優先順位付けに基づく医療費の調整

マクロ経済スライドを用いた財源の調整を一部に導入し、医療システムの持続可能性の担保

安定した財源の確保と医療費の調整による持続可能な医療提供体制の構築

### 価値に基づく意思決定 (第6章 五十嵐 中\*)

患者視点での価値評価を導入し、多様な需要を満たしながら効率を改善

生産性損失の評価による労働損失を抑制する医療提供

多面的な医療の価値の評価による、健康長寿社会の基盤となる医療システムの構築

※なお、タスクフォースによる詳細な政策オプションについては、有識者報告書を参照されたい。

※1 HTA (Health Technology Assessment: 医療技術評価)

※2 PHR (Personal Health Record)

本タスクフォースには下記の有識者の方々にご協力いただいた。

## タスクフォースメンバー (五十音順、敬称略)

五十嵐 中 (横浜市立大学医学群 (健康社会医学ユニット) 准教授)

市川 衛 (日本放送協会 (NHK) 制作局第6制作ユニット 新領域開発チーフ・ディレクター)

今村 聡 (日本医師会 副会長)

梅津 光生 (早稲田大学医療レギュラトリーサイエンス研究所 所長)

小黒 一正 (法政大学経済学部 教授)

鎌江 伊三夫 (東京大学公共政策大学院 特任教授)

齋藤 直一 (ヤンセンファーマ株式会社ポリシーインテリジェンス部 部長)

桜井 なおみ (キャンサー・ソリューションズ株式会社 代表取締役社長)

清水 央子 (東京大学大学院薬学系研究科 ITヘルスケア社会連携講座 特任准教授)

長瀬 敏雄 (ギリアド・サイエンシズ株式会社執行役員 ガバメントアフェアーズ担当)

中村 洋 (慶應義塾大学大学院経営管理研究科 教授)

吉井 弘和 (社会保険診療報酬支払基金 理事長特任補佐)



## 特定非営利活動法人 日本医療政策機構

〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-9-2

大手町フィナンシャルシティ グランキューブ 3階

Global Business Hub Tokyo

Tel: 03-4243-7156 Fax: 03-4243-7378 E-mail: info@hgpi.org

※本プロジェクトでは、発言内容と発言者が特定されないチャタムハウスルールを採用し、本資料および有識者報告書は、筆頭著者の方々とは主催者である当機構がタスクフォースでの議論を取りまとめたものであり、必ずしも登壇した方々の意見を代表するものではない。